株式会社 エーアイエス

次世代レセプトチェックシステム

Mighty Checker® EX

マイティーチェッカー イーエックス

MightyChecker® EX

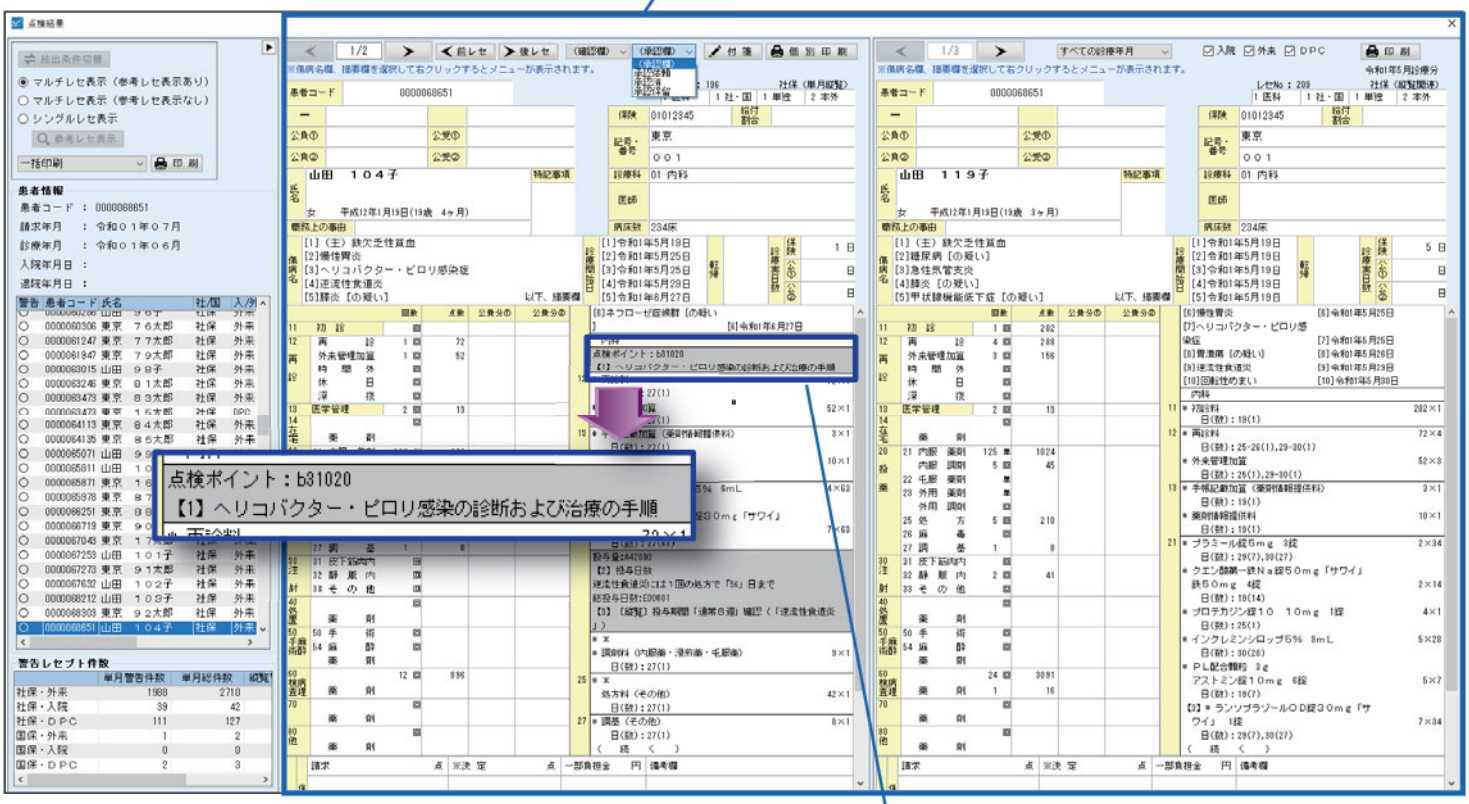
次世代のレセプトチェック

MightyChecker® EX

3つの特長

1 わかりやすいマルチ画面表示

当月のレセプトと関連するレセプトを自動的に２つ並べて表示、手間のかかる縦覧での確認が容易になりました。

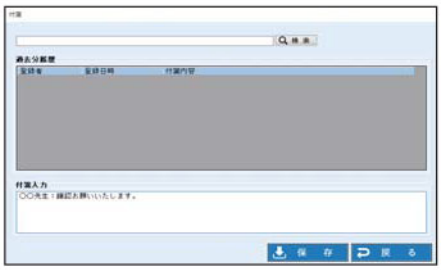


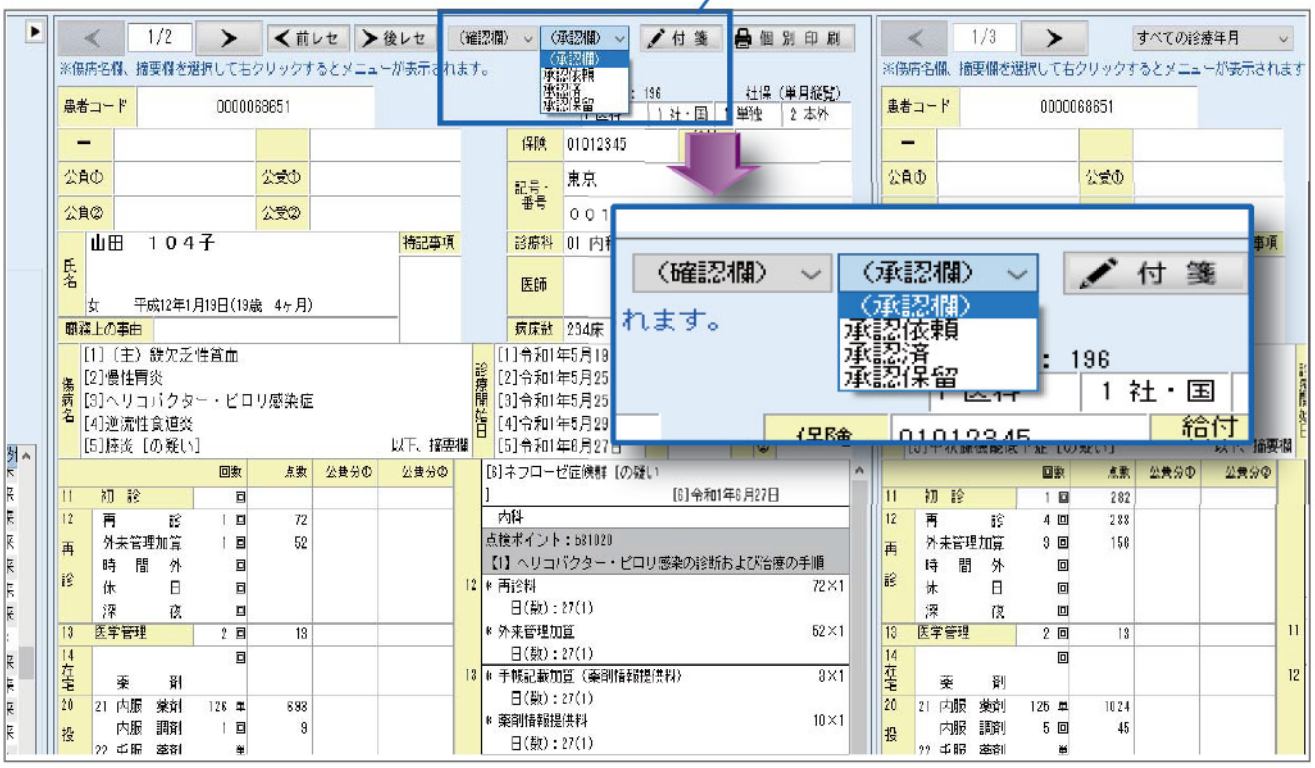
2 点検ポイントで保険ルールを解説

レセプト点検後のエラーメッセージから、わかりやすく保険ルールを解説したガイドが表示されます。

3 付箋・ステータスで作業効率アップ

患者ごとにレセプト点検の状況やメッセージを登録したり、抽出することができます。





Point
基本操作はクリックのみ

メニュー形式の画面により、パソコンが苦手な方でも直感的に操作できます。関連画面もクリックひとつですばやく開きます。
ヘルプ画面機能付きですので、操作説明書を見返すことなくご使用いただけます。

網羅性の高い約53,000項目にも及ぶ充実の点検範囲

算定支援機能、コメントもれチェック

病名や請求内容から、算定できる可能性がある各種加算や管理料等を抽出します。
同時算定が必要な診療行為の点検も可能です。
コメントが必要な医薬品・診療行為のもれをチェックします。

病名整理に効果的

重複している病名を選定します。また、未コード化傷病名を抽出します。
一定期間放置されている疑い病名・急性病名に疑義を出します。適応する医薬品・診療行為がない不要病名も抽出します。

算定実態に応じたチューンアップ

点検結果からどのような医薬品・診療行為に、どのような警告が多いのかを集計・分析できます。
結果表示画面から直接ルールを編集することが可能です。

特定項目の設定が可能

コメントが必要な医薬品や診療行為についての点検ルールを作成できます。

最新データベースを毎月提供

毎月の更新で、新薬情報などをタイムリーに反映します。
審査情報事例も収載しています。

	分　類		チェック内容
主なチェック項目	病名のチェック		未コード化傷病名をレセプト電算病名に変換してチェック
			主傷病の記載もれをチェック
			疑い病名・急性病名の経過月をチェック
			重複病名のチェック
	適応症のチェック		病名と医薬品の適応性チェック※
			病名と医薬品の禁忌チェック※
			病名と診療行為の適応性チェック※
			病名と特定器材の適応性チェック※
			複数病名の登録が必要な医薬品・診療行為のチェック
			心身医学療法と接尾語「(心身症)」のチェック
	投与量のチェック		医薬品の年齢別投与量の上限チェック
	算定支援機能		医学管理料等の算定可能性チェック
			特定疾患処方管理加算・長期投薬加算の算定もれチェック
	算定日情報にもとづいたチェック	固定点検	初診料の算定確認
			外来管理加算の算定確認
			通則年齢加算の算定確認
			一般名処方加算(処方せん料)のチェック
			包括対象検査の算定確認
		投与数のチェック	投与日数の上限チェック
		行為別算定回数チェック	1日●回／○ヶ月に●回／週●回
			入院日から○日以内1日○回、以降●回
			入院中●回
			初診日から1ヶ月以内は不可、以降●回
			退院日から1ヶ月後より月●回
		重複チェック	1日●項日／○ヶ月●回／○週間●回
		併算定チェック	同月内算定もれ・不可
			同日算定もれ・不可
			同一入院中算定不可
			今回入院中算定必須
			同一週算定不可
	縦覧点検		同一診療月内の診療行為の併算定をチェック
			連月における診療行為の妥当性をチェック
	DPC点検★		出来高算定可能項目チェック
			包括評価対象外(出来高算定)チェック
			樹形図表示機能
			診断群分類番号(DPCコード)の妥当性チェック
			副傷病候補チェック

※算定条件付きチェック可能　★オプション

さらに 分析機能の活用で 効果的・効率的に！

点検結果分析

月末・月初の限られた時間で行うレセプト点検は、負担の大きい作業です。
点検結果の分析機能を活用し、優先順位や重点項目を意識することで効率化につながります。

活用事例 ❶

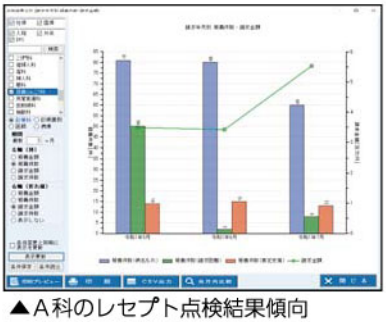
診療行為 × 疑義金額を自動計算

件数が少なく疑義金額が高い項目から優先的に点検することで、同じレセプト点検時間でもより効果的に点検を行うことができます。

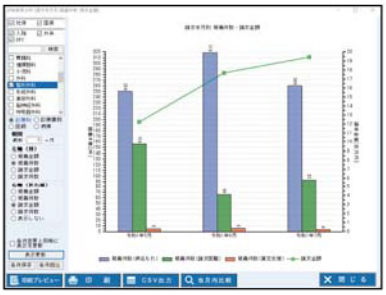
活用事例 ❷

診療科や病棟・医師別などの条件で比較

右図は診療科別で月ごとに３ヶ月分の点検結果を抽出し、A科とB科を比較したものです。
A科は「病名もれ」の警告が徐々に減少しているのに対し、B科は月によってバラつきが見られます。
またA科は「算定支援」が、B科は「請求困難」の件数が多く、まだ改善の余地が見込まれることがわかります。



▲A科のレセプト点検結果傾向



▲B科のレセプト点検結果傾向

※診療科や病棟・医師別での表示には、レセプトコンピューターでのマスタ出力が必要です。

査定・返戻分析

レセプトのオンライン請求後にダウンロードできる増減点連絡書・返戻内訳書のデータを取り込むだけで、集計から出力まで自由自在に活用できます。
実態に基づいたルール設定で、点検の精度も向上します。

査定・返戻状況を見える化

査定された項目ごとの箇所数や金額を請求年月別に分析し、一覧表で表示します。集計結果を診療科等で分析することも可能です。
また、返戻内訳書の情報を返戻事由ごとに分析します。

レセプトと合わせて確認

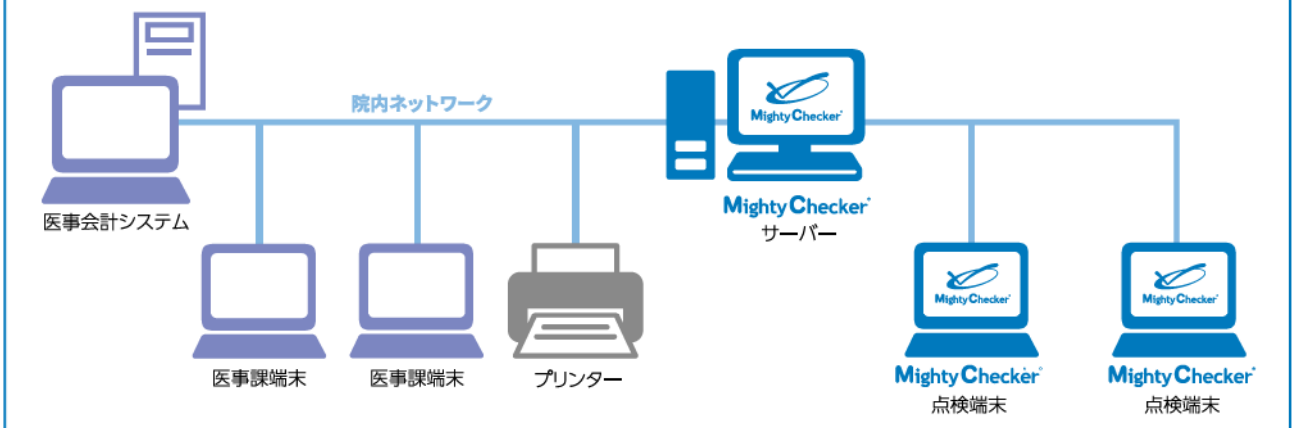
査定・返戻の内容と、対象となったレセプトデータを突き合わせて表示します。

査定に合わせたチューンアップ設定

査定項目の一覧から設定画面へ遷移し、すぐにルール編集ができます。

「MightyChecker®」シリーズシステム構成例

※「MightyChecker® シリーズ」はソフトウェアのみのご提供です。
ハードウェアは別途ご用意ください。



「MightyChecker®」シリーズデータベース参考資料（各社・団体 敬称略）

レセプト電算処理用マスター／厚生労働省保険局 診療報酬情報提供サービス
ICD10対応電子カルテ用標準病名マスター／（財）医療情報システム開発センター
DPC電子点数表／厚生労働省
医療用医薬品の添付文書情報／各製薬会社
診療報酬点数表・改正点の解説 医科・調剤／（株）社会保険研究所
診療点数早見表／（株）医学通信社
疾病、傷害および死因統計分類提要
（ICD-10 2013年版準拠）／厚生労働省大臣官房統計情報部編
検査・画像診断事典／（株）医学通信社
臨床手技の完全解説／（株）医学通信社
手術術式の完全解説／（株）医学通信社
特定疾患早見表／（株）社会保険研究所
在宅医療の完全解説／（株）医学通信社
療養の給付に関する取扱い通知等／厚生労働省
審査情報提供事例（支払基金）／社会保険診療報酬支払基金
審査情報提供事例（連合会）／国民健康保険中央会
医科電子点数表／社会保険診療報酬支払基金

ご利用条件

- **データベース更新のための契約が必須となります。**
  インターネットによるダウンロードの場合、データベースは毎月更新可能です。
  診療報酬改定に伴うデータベース更新を含みます。
- 電子レセプトの仕様は、レセプト電算処理のファイル形式に準拠している必要があります。
- 院外処方せん発行機関様でも、処方データを電子レセプトに含めていただく必要があります（医事会計システム側で要対応）。処方データがない場合は処方と病名の適応性チェックが行なえません。

システム要件

OS	Windows 10/11(Pro/Enterprise) Windows Server2016/2019/2022
CPU	Corei 5 以上 もしくは Xeon E5-2609（2.40GHz/4コア10MB）相当以上
ディスク容量	100GB以上の空き容量が必要
メモリ	8GB以上推奨
モニター	フルHD（1920×1080）推奨

※DVDドライブが必要となります。
※クライアント/サーバー構成でご利用の場合、Client OS、およびServer OSでご利用ください。
※ .NetFramework4.6.1が有効であることをご確認ください。
※SQLServerを使用しており、既にSQLServer関連のプログラムが入っていると、サーバープログラムをインストールすることができません。
※Windows OSにつきましてはMicrosoft社のサポートに準じ、弊社の動作保証を終了いたします。あらかじめご了承ください。

※この製品は2023年11月時点のものです。※仕様は予告なしに変更されることがあります。※「MightyChecker®」は株式会社エーアイエスの登録商標です。その他は、各社の登録商標です。
※動作保証環境は、製品バージョンVer.1.61.00のものです。製品バージョンにより異なることがあります。

お問い合わせ先

〈開発元〉

株式会社 エーアイエス

https://www.tais.co.jp

〒102-0082 東京都千代田区一番町21 一番町東急ビル7階
TEL 03-5800-5911（代表） FAX 03-5800-5910

〈販売代理店〉